

2010年10月27日

名古屋市長 河村 たかし 様
名古屋市教育局委員長 坂井 克彦 様
名古屋市環境局局長 長谷川 和司 様
相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員会 委員各位
および 事務局 緑政土木局道路部主幹 服部幸也 様

相生山の四季を歩く会
事務局 古川 善嗣
名古屋市南区豊4丁目10番22号
ラブリーアース J a p a n 内
Tell/fax 052-821-6463

要 望 書

1. 相生山緑地を分断する道路建設を見直し、ヒメボタル生育地である相生山緑地をCOP10の成果として「名古屋市指定の天然記念物」にしてください。
2. 相生山緑地の保全について、市民、行政、専門家が対等なテーブルで検討する「相生山緑地保全検討委員会（仮称）」を設置してください。

相生山緑地は大都市名古屋に残る貴重な緑地です。

絶滅危惧種（VU）ウンヌケ、準絶滅危惧種（NT）ヒメボタル、オオタカ、東海丘陵要素のフモトミズナラ（VU）、クロミノニシゴリ（NT）、いまや身近には見られなくなったシュンラン、コ克蘭などが生育している、名古屋市内では貴重なコナラ - アベマキ林です。

さらにカマツカ、ズミ、サワフタギ、タカノツメなどのなじみ深い植物や、シジュウカラ、コゲラ、ウグイスなどの鳥類も多く観察される、生き物のにぎわい溢れる森です。

相生山緑地を子どもから大人まで誰もが楽しめ、心安らげる場所としていつまでも残して欲しいと思います。そのためには、法的な枠組みのなかで保全を図る必要があると考えます。

現在、名古屋市では、“地球いきもの会議”であるCOP10が開催されています。

生物多様性の保全の観点からも、ヒメボタル生育地をCOP10主催都市のシンボルとして、「市指定の天然記念物」に策定してくださるよう、要望いたします。

自然とふれあいながら暮らしていきたい、自然を大切するなかで子どもたちを育てていきたいと願う、たくさんの愛知県民、名古屋市民の思いをくんでください。知恵を出し合って後世に伝え残すために「保全検討委員会」の設置は必要不可欠です。

すみやかな実現を願っております。

ご検討をお願いいたします。

以上